

NHO 四国子どもとおとなの医療センター

実施日	令和7年8月5日(火)	実施時間	8:45 ~ 11:30
参加人数 計 21名	小学生0名(男0名・女0名) 高校生21名(男1名・女20名)	中学生0名(男0名・女0名) その他0名(男0名・女0名)	
実施 プログラム	講義 ・看護師の仕事とは・看護師になるためには ・認定看護師による看護実践の話 看護体験 ・車いす、ストレッチャー、胸骨圧迫とAED ・院内見学(成人病棟、重症心身障害児者病棟、成育病棟等) ・記念撮影 ・アンケート回答 ・終了証交付		
実施内容	今年度は、8月5日(火)に「ふれあい看護体験」を実施し、高校生21名が参加されました。成育病棟新人看護師のユニフォームに着替え、真剣に認定看護師の話を聞いていました。その後、6グループに分かれ、車いすやストレッチャーでの移送を患者役として体験したり、看護師役で車いすやストレッチャーを押したり体験することで、看護という仕事に興味を持ってくれたようです。AED体験も買い物中に近くのお客さんが倒れるという設定で、アンパンマンの曲に乗って胸骨圧迫を行い、楽しく人命救助活動のシミュレーションを行いました。また、複合型病院の機能を知っていただけるよう、成人病棟、重症心身障害児者病棟、成育病棟の見学を行いました。体験後、「看護師になりたい」という気持ちが一層強くなったという感想を多くいただきました。また、認定看護師にも興味を持っていただけたようで、「認定看護師を目指します」という感想もいただきました。今回のふれあい看護体験が今後の自分の将来像を描くための一助となれば幸いです。		

ふれあい看護体験 IN 四国子どもとおとなの医療センター

患者さん側も体験することで看護師さんの大変さが伝わりました。車いすに乗ったり、持ち上げられたりと初めてのことがたくさんあって、とても楽しかったです。

私は今回の看護体験で GCU という言葉を知りました。NICU は聞いたことがありましたが、GCU は初めて聞いて、どのようなものだろうと思っていましたが、説明を聞いて知識が増えました。私の将来の夢は看護師になることなので、今回の体験を大切にしたいです。

今回の体験で自分の夢が明確になったし、自分の将来に対する(看護師に対する)理想もつくれたのでよかったです。

患者さんの体験をしてみて、「何をされたら嬉しくて、何をされたら嫌なのか」を考えながらすることが大切だと分かりました。また、それを考えながらしていてすごいなと思いました。今、自分が健康であるということにすごく有難みを感じました。この体験を通して、よりいっそう看護師になりたいと思いました。

普段体験できないストレッチャーができ、患者側、看護師側両方することができたので楽しかった

患者さん側にたってみるとことで、ストレッチャーに乗った時に足から動いた方が恐怖がやわらいだり、早かったりしたら不安になったりするなと思いました

ユニフォームを着ることができてうれしかったです

とても説明が分かりやすく貴重な体験ができてよかったです

